



PRESS RELEASE

各位



昆虫食の展望や地域社会・住民との取り組み事例を WEB 版公開講座「私たちの未来に向けて！」で限定公開～大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部地域協働センター

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部(大阪府守口市、学長:宮本郁夫)地域協働センターは、WEB 版公開講座「私たちの未来に向けて！」を YouTube で限定公開する。「つむぐ絆で中山間地域を元気に」「子ども・子育ての現在と未来ー2030 年に向けてー」「住み続けられるまちづくり」「昆虫食の展望:だれもが高栄養食品を十分に食べられて健康にすごせるために」の4講座を用意し、地域社会・住民との取り組みやこれからの食料について紹介する。公開期間は10月1日(土)～11月30日(水)まで。受講料無料。大阪国際大学・同短期大学部では、専門知識を広く地域・社会に発信していく「知の開放」の一環として、社会人に対する生涯学習の提供を行う公開講座を実施。豊かで充実した人生を送るための知識や教養などの専門知識を、地域・社会に提供している。今年度の公開講座は「私たちの未来に向けて！」をテーマに、昨年度に引き続き YouTube で限定公開する。概要は下記の通り。◆2022年度WEB版公開講座【テーマ】「私たちの未来に向けて！」 2015年9月の国連サミットで持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)が採択され、自治体や企業でもさまざまな取り組みが始まっている。今年度は以下の4講座を通じて、地域社会・住民との取り組み事例やこれからの食料に関する取り組みを紹介する。

【講座内容】(1)つむぐ絆で中山間地域を元気に〈講師:国際教養学部 国際観光学科/教授 久保由加里〉人口減少が加速する日本社会において、働き方改革、ICT 技術の発展、またコロナ禍による人口動態の変化などによって、求められる地域のあり方も変わってきた。同講座では、過疎が進む中山間地域で、地域住民と観光学を学ぶ大学生たちがどのように絆を育み、地域に奇跡をおこしていったかを紹介。人のつながりを創ることが、地域の魅力や人々の心の豊かさなどどのように関係しているのかを見ていく。

(2)子ども・子育ての現在と未来ー2030 年に向けてー〈講師:短期大学部 幼児保育学科/教授 久保田健一郎〉日本は現在、少子化問題に直面しているが、その原因として、子育てをしにくい社会になっていることが挙げられる。子育ては社会の影響を受けながら時代によって変化しており、その時代に合った支援が必要だが、現状は十分な支援を行えていない。同講座では、現在の子どもと子育ての状況を解説した上で、2030 年に向けて、子どもと子育てをどのように支援していったらよいかを提案していく。

(3)住み続けられるまちづくり〈講師:経営経済学部 経済学科/准教授 早川公〉SDGs 目標 11における「良いまち」では、包摂、安全、レジリエンスがキーワードとなっている。包摂は、社会的に弱い立場にある人びとが排除されていない状態、安全は安価な住宅や公共交通機関、緑地や公共スペースへの確保を意味する。また、レジリエンスは、災害時に致命的な被害を負わずに立ち直るための計画・方針や都市部・周辺部・農村部の良好なつながりなどを指す。こうした「良いまち」にしていくためには何が必要となるのかを、行政や企業だけでなく、身のまわりからできることについて考えていく。

(4)昆虫食の展望:だれもが高栄養食品を十分に食べられて健康にすごせるために〈講師:人間科学部 人間健康科学科/教授 眞鍋昇〉80 億人近い全世界の人々の9人に1人が飢餓に直面しているにも関わらず、世界の食料の1/3の約13億トン(わが国では700万トン弱)もが廃棄されている。この廃棄食品を餌にし、AI 技術を駆使した衛生的な工場で食用昆虫を生産するプロジェクトが各国ではじまっている。

▼本件に関する問い合わせ先 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部 地域協働センター

住所: 大阪府守口市藤田町 6-21-57 TEL: 06-6902-0617 FAX: 06-6902-0619E-mail: collabo+kouza@oiu.jp

(発信元:大阪国際学園法人本部事務局 総務課)